



白南風小学校 学校だより

令和6年2月8号

しらはえっ子

校長 三代 直正

やさしいっぱいの子 やる気いっぱいの子 元気いっぱいの子

大谷翔平選手からの贈り物

段ボールには、グローブが3つ（右利き用2つ、左利き用1つ）と手紙が入っていました。

1月22日に子供たちが楽しみにしていた大谷翔平選手からの贈り物が届きました。

3つともサインが入っています。右利き用のグローブをよく見てみると1つは少し小さめの物でした。低学年の児童にも使いやすいようにとの配慮なのでしょう。大谷選手の相手を思いやる気持ちが伝わってきました。手紙には、「…私は、このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。…野球しようぜ。大谷翔平」と書いてありました。

翌日23日の給食集会後に大谷選手からの贈り物が届いたことを子供たちに紹介しました。その後、6年生から1年生までの各学級で贈り物とふれ合う時間を取りました。子供たちは、一人一人グローブを手にとって感触を確かめていました。サインをじっと見ている子、グローブをはめて笑顔になる子、「かっこいい」「やわらかい」「手になじむ」とつぶやく子、大谷選手の投球フォームを真似する子などいろんな反応がありました。



子供たちの作文を紹介します。

「今日、大谷選手から届いたグローブをさわりました。グローブを手につけた瞬間、すぐにボールを投げたくなりました。そして投球のふりをしたら、まるで大谷選手になった気がしました。野球にもっと興味をもちました。ホームランを打ちたいです。」

「今日、大谷翔平選手から右利き用グローブ1個、左利き用グローブ1個、低学年用のグローブ1個が届きました。一緒に届いた手紙には、野球、スポーツの楽しさ、魅力が書かれていました。そして僕は、大谷選手みたいに心も体も成長させて、夢を叶えられるようにしたいです。夢に向かって大谷選手がやっていたようにしっかりと目標を決め、たく

さん努力をしてがんばりたいと思いました。サッカー選手になり活躍出来たらサッカーやスポーツの楽しさをまたほかの人に教えたいです。そしていつかは世界で活躍し、誰もが知っているような人になりたいです。」

大谷選手がグローブという贈り物に託した思いは、白南風小学校の子供たちにしっかり伝わったようです。

1年生が昔遊びをしました

1月30日に1年生が生活科の学習で昔遊びをしました。今回は、地域の民生委員の方に「昔遊び先生」になっていただきました。

体育館と運動場で活動しました。体育館では、めんこ、羽根つき、お手玉、おはじき、けん玉で遊ぶことができました。昔遊び先生が、片手でお手玉をすると、子供たちはびっくりでした。運動場では、竹とんぼ、竹馬、こまで遊べました。竹とんぼは、上手に高く遠くまで飛ばせる子がいました。コツを聞いてみると、「ビュッツと前に飛ばすといい」とのことでした。こまは、昔遊び先生にひもの巻き方を教えてもらいましたが、回すのは、苦戦している子供たちが多かったようです。その分回った時は、大喜びでした。

2時間の学習でしたが、あっという間に時間が過ぎました。

「楽しかった」「またやりたい」「できた時はうれしかった」などの感想が子供たちから聞こえてきました。民生委員の皆様お忙しい中にご協力ありがとうございました。



させば子育て講座

2月1日に新入学児童の保護者の皆様を対象に「させば子育て講座」を開催しました。



この講座は、就学前の子供をもつ保護者を対象に子育てに必要な情報や学びを届け、基本的な生活習慣の定着をはじめ、子供たちの健やかな育ちを支える場としての家庭教育の重要性を、改めて考えていただく機会とするために佐世保市教育委員会が主催しているものです。白南風小学校では、入学説明会の前に実施しました。講師は、元小学校校長 岩崎勢智子 先生、演題は「共育しましょう！！」でした。講演は、保護者のみなさんへの「学校でどんなことをさせてほしい？」という質問から入りました。「だめなことはだめと学んで」「よい体験や経験をしてほしい」「良いところをのぼしてほしい」「社会性を身につけて」…と保護者から意見が出ました。その一つ一つに「そうね、そうだね」と相槌を打ちながら、「学校の先生方も頑張っているけど、学校だけでは難しい。今、家庭と学校が一緒になって子育てをすることが大切なのですよ…」とお話が始まりました。(主な内容は、次のとおり)

・「あいさつ」「返事」「靴並べ」…最も心が安定している小学校低学年時代の躾の大切さ
・生活リズムを守ることが脳と心の発達には大切(「早寝・早起き・朝ごはん」には科学的根拠がある)
・「愛」の反対語は「無関心」(マザーテレサの諺から) 愛は字のごとく、「心を受け止めるのが愛」
子育てに生かすことができるお話をたくさん聞くことができました。